

須賀川市立義務教育学校「稲田学園」学園だより

とう oun
稲雲

令和6年度 第20号

令和7年2月28日発行

発行者：校長 田中 朗裕



○感動的な巣立ちの日に向けて

3月13日（木）に「第4回卒業証書授与式」を実施します。卒業式まで、2月28日（金）の予行を含めて4回の全体練習を行います。現在は、2回の全体練習が終わりました。第2回の全体練習の後には、教頭先生から「有終の美」「統一の美」という話を聞き、「感動的な巣立ちの日」を迎える準備が進んでいます。また、朝と昼休みには卒業式で歌う「式歌」の練習も行われており、学校全体に「卒業ムード」が漂っています。

卒業生はもちろん、在校生、教職員が心をひとつにして、感動の涙とともに、9年生の巣立ちを喜びたいと思います。



○「6年生ありがとうの会」を実施しました

2月20日（木）に、1～5年生が「6年生ありがとうの会」を実施しました。5年生が中心となって、6年生に対するこれまでの「感謝の気持ち」を表現する会になりました。企画と運営、体育館の飾り付け、プレゼントの準備など、6年生のために、各学年ががんばって準備を進めました。それぞれの学年が6年生とゲームで対決したり、縦割り班ごとに集まってプレゼントを渡したり、一緒に歌を歌ったりと、盛りだくさんの会になりました。委員会やクラブ、登校班の引き継ぎ、鼓笛の「移杖式」も行われ、6年生から5年生にたくさんの期待とともに「バトン」が手渡されました。最後には、5年生からの「力強い決意」や6年生からの「温かい励まし」が聞かれるとてもよい会になりました。



○「薬物乱用防止教室」を実施しました

2月17日（月）に、9年生で「薬物乱用防止教室」を実施しました。講師に学校薬剤師の先生をお招きして、「薬物乱用」、「薬物依存」、「健康への影響」等について、詳しく説明していただきました。また、最近10代、20代で問題となっている「オーバードーズ」についてもお話をいただきました。お話の内容をしっかりと心にとめて「自分の命を自分で守る力」を高めてほしいと思います。



○「授業づくり研修会」を実施しました

2月21日（金）に、本校において、令和6年度須賀川市「授業づくり研修会」が実施されました。研修会では、市内の学校教育指導委員、各学校代表の先生方に向けて2年生の算数の授業を公開しました。学習院大学から講師の先生も来校され、授業参観、事後研究会、講演をしていただきました。講師の先生や来校していただいた多くの先生方から、たくさんの「気付き」と「学び」を得られた貴重な一日になりました。2年生が難しい課題に意欲的に取り組む姿が見られ、2年生の成長の大きさを感じることもできました。



○「表彰集会」を実施しました

2月25日（火）に、「表彰集会」を実施しました。学校功労賞、書き初めや版画展等、延べ87名の表彰を行いました。今回も、ステージに上がった代表9名の児童生徒が堂々と自分の考えや、後輩への励ましの言葉を述べる姿が見られました。今年度から、表彰された児童生徒が自分の言葉で思いを伝える集会という形にしましたが、毎回児童生徒の言葉に感心させられたり、驚かされたりしています。



○今年度の「読み聞かせ」が終了しました

2月26日（水）に、7年生で「読み聞かせ」を実施しました。今回も7年生は、静かに、そして真剣に耳を傾け、絵本を見つめていました。今年度最後ということもあり、最後には代表生徒から「お礼のことば」とともに、お手紙が手渡されました。今年度の前期課程の「お話し会」は各学年で8回ずつ、後期課程の「読み聞かせ」は計18回実施することができました。子どもたちが音読に真剣に耳を傾け、じっと絵本を見つめる素敵な時間を作っていただくことができ、ボランティアの皆様のご協力に感謝しております。



随想

「未完成の学級歌」～この時期になると思い出すこと～

毎年3月11日が近づいてくると思い出すことがあります。東日本大震災が起こった日、私は3年生の担任として卒業生を送り出しました。その年、私の学級では「学級歌」を作っていました。生徒たちが作詞し、音楽の先生に作曲してもらいました。受験勉強の合間をぬって練習もしました。生徒みんなの思いがこもった歌でした。だから、卒業式の前に全員で歌って、録音したものを卒業式に配付する予定でした。録音の予定日、大雪のために、県外の高校を受験する生徒の出発が早まりました。卒業式の前に録音できる日が、その日だけであることを知っていたその生徒は、「僕は参加できなくてもいいので、録音してください。」と私に言いました。そのことを学級に伝えると、全員から反対され、「全員で録音したい！」と言われました。そんな生徒たちの気持ちが嬉しくて、卒業式の翌日に学校に集まり、録音することにしました。もちろん、「学級歌」は卒業式の後の学活でも涙を流しながら全員で歌いました。あとは録音を待つだけだと思っていました。しかし、大震災とその後の原発事故…。学校に集まることも、録音することも不可能でした。この時期になると、「全員で、あの『学級歌』を完成させたかったなあ…。」といつも思います。そして「いつか完成させる！」とも思っています。